



超小型精子特性分析機 SQA-iO



SQAクイックチェック

## 株式会社ジャフコは、精子特性分析機のリーディングカンパニーです。

1987年に精子特性分析機 SQA の開発者の一人と知り合ったことが日本の不妊治療の現状に目を向けるきっかけになり、それから25年以上に渡って精子特性分析機 SQA と共に歩んで参りました。

近年、少子高齢化や出生率の低下が TV や新聞、雑誌などでも話題を呼び不妊症も注目を集めております。

また男性の精子が減ってきているということもマスコミに取り上げられることが多くなり、結婚前に彼の精子を測ってもらいたいという女性側の両親からの依頼まで聞かれるようになりました。現在の日本では10%のご夫婦が不妊症で悩んでいるという

データもあります。その不妊原因の約半数を占める「男性不妊」の検査である「精液検査」は未だに顕微鏡で精子数を数え、奇形率や運動率を求めるといった昔からの方法に頼っています。

しかし、数千万という数の動いている精子を数えるには検査技師の熟練度と時間を必要とし、得られたデータも測定者の主観や疲労度、経験によって大きく変わってしまうことが指摘されています。

株式会社ジャフコでは、YO (家庭用精子計測キット) から専門クリニックや、研究機関向けの SQA VISION まで、幅広い分野に対応した精子特製分析機を取り揃えております。

### 不妊治療施設で活躍

精子特性分析機 SQA (Sperm Quality Analyzer) はイスラエルで開発され、短時間で精子検査ができる機器として、日本生殖医学会や日本受精着床学会など多くの学会で研究発表が行われており、その度に変化話題を呼んでいます。

特に顕微鏡では見ることができない平均精子速度や高速直進運動精子濃度：PMSC(a)、SMI(Sperm Motility Index) など、精子の受精能力の予測に有用なデータが得られることが特徴です。

顕微鏡を使って人の目で精子数、運動精子数などをカウントする従来の検査法は、検査技師、培養士の経験や技術の差など

からばらつきもありますが、『SQA-V』で測定した場合には、測定者も施設間の差もなく検査データをまとめることができます。海外での導入施設は4000件を超え、国内では、国公立大学病院や不妊治療専門クリニックだけでなく、一般産婦人科、泌尿器科、製薬メーカーなどの約300件の導入実績があります。

#### 精液特性分析レポートの内容

1. 精子濃度
2. 運動率
3. 正常形態率
4. SMI (精子自動性指数)
- 2a. 高速前進運動率
- 2b. 低速前進運動率
- 2c. 非前進運動率
- 2d. 不動率
5. 運動精子濃度
- 6a. 高速前進運動精子濃度
- 6b. 低速前進運動精子濃度
7. FSC (機能精子濃度)
8. Velocity (平均精子速度)



精子特性分析機 SQA-V

株式会社ジャフコ

WEBSITE →

